

令和6年度庄原市学校図書館研修会 兼 学校司書研修会

- 日 時：令和6年7月2日（火） 13：00～14：55
- 場 所：庄原市ふれあいセンター
- 対象者：庄原市内各小・中学校の図書館担当者22名、学校司書10名

目 的

児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を促進する学校図書館づくりについて研修することを通して、学校図書館担当者と学校司書が連携し、図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実を図る。

講話 「学校司書と図書担当の連携による魅力ある学校図書館づくり」

広島県ボランティアネットワーク ひろしまこどもの読書活動団体等ネットワーク協議会副代表 田中 いづみ



- ◆学校と市立図書館との連携、校内での協力体制をどうつくっていくか講話を聞いた。
- ・学校図書館の館長は学校長である。読書推進計画を学校全体で共有し、管理職、学校司書、図書担当とが連携・協力して行う必要がある。
- ・連携、協力を行う際には、声をあげることが大切。市立図書館も協力できることがたくさんある。学校全体の取組が町づくりにつながることもある。

交流・協議 「自校の学校司書と図書担当の連携の状況について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



- ◆次の4つの視点において、学校司書と図書担当の連携の状況についてグループごとに交流・協議した。

授業での学校図書館活用や学校司書とのTT指導

…国語の単元で必要な本の準備を学校司書が行っている。

学校全体での読書活動推進活動

…読んだ本の感想やページ数の記録、表彰をしている。

児童生徒の活動

…図書委員会による読み語り、図書祭り、ビブリオバトル等を実施している。

学校図書を選定、廃棄

…児童生徒のニーズの把握に努め、選定に生かしている。

【参加者の感想】

- ◇ もっと積極的に図書館運営に関する情報を集めたり発信したりすることで、充実した図書館づくりができると分かった。
- ◇ 学校司書に学校図書館運営を任せきりにしており、選書や委員会等連携をしないといけないと感じた。
- ◇ どのような子供を育てたいのかとどのような図書館にしていきたいのかはリンクしており、学びの基礎であることを再確認した。その認識をもち、図書担当としての職務を遂行したい。